■アプリを検索する

1 待受画面で■→[アプリ サービス]→↔

・アプリ取り放題タブを表示してください。

2 📷(アプリ取得)

auスマートパスのサイトが表示されますので、画面に従ってアプリを検索、取得してください。取得したアプリは、「アプリ取り放題」タブに表示されます。

メインメニューを変更する

1 待受画面で■→📖(メニュー)

2 [レイアウト]→↔でメニューを選択→■

カスタムメニューを利用する

カスタムメニューに好みのアプリを登録することで、アプリを簡単に呼び出すことができます。

カスタムメニューにアプリを登録する

1 待受画面で■→📷(カスタムメニュー)

カスタムメニュー画面が表示されます。

2 アプリを登録したい位置の「アプリを登録」を選択→■

3 登録したいアプリを選択→■

カスタムメニューを利用してアプリを呼び出す

1 待受画面で■→📷(カスタムメニュー)

2 アプリを選択→■

アプリを並べ替える

1 カスタムメニュー画面で並べ替えたいアプリを選択→▣(メニュー)

2 [並べ替え]→並べ替えたい位置を選択→●

アプリを削除する

1 カスタムメニュー画面で削除したいアプリを選択→▣(メニュー)

2 [削除]→削除したいアプリにチェックを入れる→▣(削除)

- チェックを入れたアプリが削除されます。
- ▣(メニュー)→[全選択]／[全解除]で全選択または全解除ができます。

カスタマイズキーを利用する

F1 F2 F3を押したときの動作を設定します。

- お買い上げ時には以下のアプリが割り当てられています。
  - F1:電卓
  - F2:設定なし
  - F3:設定なし
- 設定なしのキーを押すと、カスタマイズキー設定画面が表示されます。

1 待受画面で●→[設定]→[カスタマイズキー]

カスタマイズキー設定画面が表示されます。

2 設定したいキーを選択→●

3 設定したいアプリを選択→●

共通の操作を覚える

基本的なキー操作を覚えよう

■ 画面の最下行に表示された内容を実行するには

画面の下部に表示された内容を実行するには、対応するキーを押します。

①「スピーカーON」は、■を押します。
②「メニュー」は、📖を押します。
③「マイクOFF」は、✉を押します。
④「聞こえ」は、📷を押します。
⑤「プロフィール」は、🌐を押します。

- 画像を表示しているときなど、画面の最下行に表示されていない場合は、📖や✉、🌐などを押すと表示されます。

■ 項目を選択するには

表示された項目を選択するには、▲▼や✥で項目を選択して■を押します。

■ 1つ前の画面に戻るには

クリアを押すと、1つ前の画面に戻ることができます。

■ 待受画面に戻るには

各機能から待受画面に戻るには、━を押します。

- 一定時間キー操作をしないと、自動的に待受画面に戻る場合があります。
- 通話中に各機能を呼び出している場合は、通話が切れることがあります。
- 操作中の機能やアプリが終了します。

■ 数字を入力するには

0～9を押すと、数字を入力できます。
数字を入力する欄の上下に「▲」と「▼」が表示されている場合は、▲▼を押すことで、数を増減できます。

■ 前後のデータへ移動するには

メール表示中などに、🌐を押すと次のデータへ、✉を押すと前のデータへ移動できます。

■ページスクロールするには

Webページのブラウジング中や、メール一覧画面、メール内容表示画面、データ一覧画面(リスト表示)などでは、✉を押すと上に、🌐を押すと下にページスクロールできます。

■チェックボックスを利用する

設定項目の横にチェックボックスが表示されているときは、項目またはチェックボックスを選択することで設定のON／OFFを切り替えることができます。

また、データの「選択コピー」「選択削除」などをする際は、チェックボックスを選択することで項目の選択／選択解除を切り替えることができます。

アイコン例	説明
☑	設定がON／項目が選択されている状態です。
☐	設定がOFF／項目が選択されていない状態です。

本体を閉じたときにマナー／シャッターキーの操作を無効にする(キーロック)

1 待受画面で■を1秒以上長く押す→[OK]

本体を閉じると マナー/シャッター の長押しでのマナーモード設定／解除操作が無効になります。

もう一度■を1秒以上長押し→[OK]と操作すると、解除されます。

memo

◎ マナー/シャッター の操作を無効に設定して本体を閉じていても、アラームやメール受信音などのお知らせ音を止めたり、サブディスプレイの表示を切り替えたりすることができます。

文字入力

文字入力の方法を覚える

■文字入力時の各キーの割り当て一覧

文字種	ひらがな漢字	全角英字	数字(全角/半角)
1	あいうえおぁぃぅぇぉ	.@—_/:～?,'!1	1
	カタカナ(全角/半角)	半角英字	ダイヤル入力
	アイウエオァィゥェォ	.@- _/:~?,'!1	1
文字種	ひらがな漢字	全角英字	数字(全角/半角)
2	かきくけこ	abcABC2	2
	カタカナ(全角/半角)	半角英字	ダイヤル入力
	カキクケコ	abcABC2	2
文字種	ひらがな漢字	全角英字	数字(全角/半角)
3	さしすせそ	defDEF3	3
	カタカナ(全角/半角)	半角英字	ダイヤル入力
	サシスセソ	defDEF3	3
文字種	ひらがな漢字	全角英字	数字(全角/半角)
4	たちつてとっ	ghiGHI4	4
	カタカナ(全角/半角)	半角英字	ダイヤル入力
	タチツテトッ	ghiGHI4	4
文字種	ひらがな漢字	全角英字	数字(全角/半角)
5	なにぬねの	jklJKL5	5
	カタカナ(全角/半角)	半角英字	ダイヤル入力
	ナニヌネノ	jklJKL5	5
文字種	ひらがな漢字	全角英字	数字(全角/半角)
6	はひふへほ	mnoMNO6	6
	カタカナ(全角/半角)	半角英字	ダイヤル入力
	ハヒフヘホ	mnoMNO6	6
文字種	ひらがな漢字	全角英字	数字(全角/半角)
7	まみむめも	pqrsPQRS7	7
	カタカナ(全角/半角)	半角英字	ダイヤル入力
	マミムメモ	pqrsPQRS7	7
文字種	ひらがな漢字	全角英字	数字(全角/半角)
8	やゆよゃゅょ	tuvTUV8	8
	カタカナ(全角/半角)	半角英字	ダイヤル入力
	ヤユヨャュョ	tuvTUV8	8
文字種	ひらがな漢字	全角英字	数字(全角/半角)
9	らりるれろ	wxyzWXYZ9	9
	カタカナ(全角/半角)	半角英字	ダイヤル入力
	ラリルレロ	wxyzWXYZ9	9

文字種	ひらがな漢字	全角英字	数字(全角/半角)
0	▶わをんぁ、。ー・〜！ ？．　空白(ｽﾍﾟｰｽ)┐	▶０ 空白(ｽﾍﾟｰｽ) ！？・，’ ”＿．－┐	0
	カタカナ(全角/半角)	半角英字	ダイヤル入力
	▶ワヲンｧ、。ー・〜！？． 空白(ｽﾍﾟｰｽ)┐ ※「ヮ」は全角カタカナのみ	▶0 空白(ｽﾍﾟｰｽ)! "# $ % & ’ ( ) *+ , - . / : ; < = > ?@ [¥] ^ _ ` { | } ~ ┐	0

文字種	ひらがな漢字	カタカナ(全角/半角)	英字(全角/半角)	数字(全角/半角)	ダイヤル入力
＊	小文字と大文字を切り替え(可能な文字のみ) ゛(濁点)や゜(半濁点)を付加(可能な文字のみ) ▶、。ー・〜！？ 空白(ｽﾍﾟｰｽ)┐	小文字と大文字を切り替え(可能な文字のみ) 文字確定時は ▶.,-！？┐	＊	短く押す....＊ 1秒以上長押し....＋(プラス)
文字種	ひらがな漢字	カタカナ(全角/半角)	英字(全角/半角)	数字(全角/半角)	ダイヤル入力
＃	文字入力時は、1つ前の文字を表示(バック機能) 文字確定時は、改行			＃	短く押す....＃ 1秒以上長押し....;(ポーズ)

文字種	ひらがな漢字	カタカナ(全角/半角)	英字(全角/半角)	数字(全角/半角)	ダイヤル入力
📖	メニューから機能引用、定型文などの呼び出し 通常変換と予測変換の切り替え(文字種が「漢」の場合のみ)				―
文字種	ひらがな漢字	カタカナ(全角/半角)	英字(全角/半角)	数字(全角/半角)	ダイヤル入力
📷	文字入力時に、絵文字/D絵文字/顔文字/記号の一覧を表示 絵文字/D絵文字/顔文字/記号の一覧を切り替え 文字入力時(変換候補表示中)は、英数カナ変換と予測変換を切り替え				―
文字種	ひらがな漢字	カタカナ(全角/半角)	英字(全角/半角)	数字(全角/半角)	ダイヤル入力
✉	文字種の切り替え 前のカテゴリ/ページへの切り替え (絵文字/D絵文字/顔文字/記号/変換候補選択中の場合のみ)				―
文字種	ひらがな漢字	カタカナ(全角/半角)	英字(全角/半角)	数字(全角/半角)	ダイヤル入力
🌐	文字を確定直前の状態に戻す 次のカテゴリ/ページへの切り替え (絵文字/D絵文字/顔文字/記号/変換候補選択中の場合のみ)				―

文字種	ひらがな 漢字	カタカナ (全角／半角)	英字 (全角／半角)	数字 (全角／半角)	ダイヤル 入力
◀	カーソルの左移動 変換候補の選択 予測変換時、文節範囲縮小				―
文字種	ひらがな 漢字	カタカナ (全角／半角)	英字 (全角／半角)	数字 (全角／半角)	ダイヤル 入力
▶	カーソルの右移動 変換候補の選択 予測変換時、文節範囲拡大(字数指定予測をONに設定している場合のみ) カーソルが文末にある場合は、半角／全角の空白(スペース)を入力				―
文字種	ひらがな 漢字	カタカナ (全角／半角)	英字 (全角／半角)	数字 (全角／半角)	ダイヤル 入力
▲	カーソルの上移動 変換候補の選択				―
文字種	ひらがな 漢字	カタカナ (全角／半角)	英字 (全角／半角)	数字 (全角／半角)	ダイヤル 入力
▼	カーソルの下移動 変換候補の選択 カーソルが文末にある場合は、改行				―
文字種	ひらがな 漢字	カタカナ (全角／半角)	英字 (全角／半角)	数字 (全角／半角)	ダイヤル 入力
全角/半角	全角と半角を切り替え				―

文字種	ひらがな 漢字	カタカナ (全角／半角)	英字 (全角／半角)	数字 (全角／半角)	ダイヤル 入力
クリア	短く押す.....カーソルの文字を1文字削除 カーソルに文字がない場合は、カーソル左側の文字を1文字削除 変換候補の選択時は、候補選択を抜けて1文字削除				短く押す....1桁削除
	1秒以上長押し....カーソルから右側の文字をすべて削除 カーソルが文頭または文末にある場合は、文字をすべて削除				1秒以上長押し....すべて削除

■入力する文字の種類を変更するには

文字入力画面で✉(文字種)を押すたびに文字種が切り替わります。全角／半角を切り替えるには全角/半角を押します。

漢:ひらがな漢字　AB:半角英字
12:半角数字　ｱｲ:カタカナ(半角)
A:全角英字　1:全角数字
ｱ:カタカナ(全角)

待受画面ですぐに文字を入力する

「すぐ文字」をONにすると、待受画面からすぐに文字を入力できます（全角最大1,000／半角最大1,000文字）。電話番号も同時に入力されます。入力した文字や電話番号はさまざまな機能に利用できます。

1 待受画面で■→[設定]→[その他の設定]→[言語と入力]→「すぐ文字」にチェックを入れる

■待受画面から入力した文字を利用する

1 待受画面で文字を入力→■（完了）

2

インターネット検索	インターネットに接続し、入力した文字でキーワード検索します。
地図検索	入力した文字が設定された地図アプリを起動します。店名／住所／駅名などを自由に入力して、全国のスポットを簡単に検索できます。
乗換検索	インターネットに接続し、入力した文字を出発駅とした乗換案内を起動します。また、出発駅と到着駅を入力することもできます（例：「東京駅　大阪駅」や「東京駅から大阪駅」など）。
メール本文	入力した文字を本文としてEメールを作成します。 ▶P.103「Eメールを送信する」
電話帳登録（名前）	入力した文字を電話帳の名前として新規に登録します。 ▶P.95「電話帳に登録する」
スケジュール登録	入力した文字を用件としてカレンダーを起動します。
メモ帳	入力した文字をメモ帳として起動します。
漢字チェック	入力した文字で漢字チェックを行います。 ▶P.121「漢字チェック」

memo

◎待受画面で電話番号を入力→[ ]→[ ]／■（発信）と操作すると、画面下部に表示されている電話番号に電話をかけられます。

◎すぐ文字メニュー表示中に[ ]（並び替え）を押すと、すぐ文字メニューを並べ替えることができます。

電話

電話をかける

電話番号を入力して電話をかける

1 待受画面で電話番号を入力

ダイヤル画面が表示され電話番号が入力されます。

一般電話へかける場合には、同一市内でも市外局番から入力してください。

[◀▶]:カーソルの位置を移動

[クリア]:入力した数字を一桁削除

[クリア]を1秒以上長押し:待受画面に戻る

[📷](登録):入力した電話番号を電話帳に登録(▶P.95)

2 [📞]→通話

- [■](発信)→[発信]と操作しても、電話をかけることができます。

通話中の操作:

[■](スピーカーON/スピーカーOFF):ハンズフリー通話ON/OFF

[🕮](メニュー):メニューを表示

[📷](聞こえ):聞こえ調整
相手の方の声の聞こえかたを調整します。

[✉](マイクOFF/マイクON):ミュートON/OFF

[🌐](プロフィール):プロフィールを表示

[▲▼]:通話音量(相手の方の声の大きさ)を調節

[📞]:通話を保留

[クリア]:通話音声メモを録音

3 [📞]

- 本製品を閉じても通話を終了できます。

memo

◎「すぐ文字」をONにしている場合は、待受画面で電話番号を入力するとすぐ文字画面が表示されます(▶P.85)。[📞]→[📞]/[■](発信)と操作すると、電話をかけられます。

◎送話口(マイク)を覆っても、相手の方には声が伝わりますのでご注意ください。

◎「機内モード」を設定中でも、緊急通報番号(110、119、118)へは電話をかけることができます。

◎通話中に画面が消灯しているときに操作する場合は、[📞]/[マナー/シャッター]以外のキーを押します。

◎通話終了後にあとから録音の確認画面が表示された場合は、「はい(今すぐ設定する)」を選択→▣と操作するとあとから録音を設定できます。
※ あとから録音は次回の通話から動作します。

■通話音声メモ／あとから録音を利用する

■通話音声メモを録音する

通話中の相手の方と自分の音声を録音します。

1 通話中画面で クリア

- 「あとから録音」がONの場合は、クリアを押しても操作できません。

■通話音声メモの録音を自動的に開始する(あとから録音)

通話開始と同時に通話音声メモの録音を開始するにはあらかじめ設定が必要です。

1 待受画面で▣→[電話 メール]→[通話音声メモ]

2 「あとから録音」にチェックを入れる

あとから録音を保存するには

通話が終了すると通話音声メモを保存するかどうかの確認画面が表示されます。

- [はい]→[OK]と操作すると通話音声メモを保存できます。
- 「いいえ」を選択すると録音した通話音声メモは削除されますので、ご注意ください。

■通話音声メモを再生する

1 待受画面で▣→[電話 メール]→[通話音声メモ]→[通話音声メモリスト]

通話音声メモリスト画面が表示されます。

2 再生する通話音声メモを選択→▣

通話音声メモが再生されます。

- ▣(ポーズ)を押すと再生中の通話音声メモを停止します。

memo

◎録音できるのは、1件あたり約60分間で、50件までです。50件録音されている場合は、保護されていない通話音声メモが、古いものから順に削除されます。すべて保護されている場合、通話音声メモの録音はできません。

■緊急通報位置通知について

本製品は、警察・消防機関・海上保安本部への緊急通報の際、お客様の現在地（GPS情報）が緊急通報先に通知されます。

memo

◎警察（110）・消防機関（119）・海上保安本部（118）について、ここでは緊急通報受理機関と記載します。
◎日本国内の緊急通報受理機関に接続する場合は、auのVoLTE（LTEネットワーク）を利用します。3G（回線交換ネットワーク）を利用しての接続はできません。
◎本機能は、一部の緊急通報受理機関でご利用いただけない場合もあります。
◎緊急通報番号（110、119、118）の前に「184」を付加した場合は、電話番号と同様にお客様の現在地を緊急通報受理機関に知らせることができません。
◎GPS衛星または基地局の信号による電波を受信しづらい、地下街・建物内・ビルの陰では、実際の現在地と異なる位置が、緊急通報受理機関へ通知される場合があります。
◎GPS測位方法で通知できない場合は、基地局信号により、通知されます。

◎緊急通報受理機関への緊急通報の際には、必ずお客様の所在地をご確認の上、口頭でも正確な住所をお伝えくださいますようお願いいたします。なお、おかけになった地域によっては、管轄の通報先に接続されない場合があります。
◎緊急通報した際は、通話中もしくは通話切断後一定の時間内であれば、緊急通報受理機関が、人の生命、身体などに差し迫った危険があると判断した場合には、発信者の位置情報を取得する場合があります。
◎着信拒否を設定した状態で緊急通報を発信した場合、緊急通報受理機関からの着信を受けるため、着信拒否設定は自動的に5分間解除されます。

■;（手動ポーズ）／,（自動ポーズ）ダイヤルで電話をかける

送信するプッシュ信号をあらかじめ入力しておき、通話中にプッシュ信号を送信できます。各種の情報サービスや自動予約サービスを利用する際に便利です。

例：;（手動ポーズ）を使用して「03-0001-XXXX（銀行の電話番号）」に電話をかけて、店番号「22X」口座番号「123XX」を送信する場合

1 電話番号を入力→[#]を1秒以上長く押す

1番目の;（ポーズ）が入力されます。

2 送信するプッシュ信号を入力

店番号	→	;(ポーズ)	→	口座番号
22X		#を1秒以上長く押す		123XX

2番目の;(ポーズ)が入力されます。

※;(ポーズ)を間に入力すれば、複数のプッシュ信号をつなげて入力できます。

3 [通話]

通話状態になると、確認画面が表示されます。送信先が電話を受けていることを確認してから「はい」を選択してください。「はい」を選択して■を押すごとにプッシュ信号を送信します。

memo

◎,(自動ポーズ)ダイヤルで電話をかける場合は、電話番号を入力→[メニュー]→[自動ポーズ(,)]→送信するプッシュ番号を入力→[通話]と操作します。

◎電波の状態が悪いと、正しく送信できないことがあります。

履歴を利用して電話をかける

1 待受画面で[着信履歴]／[発信履歴]

着信履歴／発信履歴一覧画面が表示されます。着信履歴／発信履歴の他に、発信頻度も確認できるようになります。

- [◀▶]を押して着信履歴／発信履歴／発信頻度一覧画面を切り替えることができます。

:着信
:不在着信
:不在着信(ワン切り※1)
:着信拒否
:発信
:伝言メモ／通話音声メモあり
:auお留守番サービスのメッセージあり※2

※1 約3秒以内に切れた不在着信をワン切りとみなします。お客様に折り返し電話させ、悪質な有料番組につなげる行為の可能性がありますのでご注意ください。

※2 アイコンと合わせて、着信履歴に「auお留守番」が表示されます。

2 履歴から電話をかける相手を選択→[発信]

選択した相手に電話を発信します。

- 着信履歴／発信履歴一覧画面で履歴を選択→■(詳細)と操作すると着信履歴／発信履歴詳細画面が表示されます。発信頻度一覧画面では詳細画面は表示されません。

■スピードダイヤルを利用する

スピードダイヤルに登録した連絡先にすばやく電話をかけることができます。また、メールを送信することもできます。

■スピードダイヤルに登録する

1 待受画面で■→[電話 メール]→[スピードダイヤル]

2 登録したい番号の＜未登録＞を選択→■(編集)

- 連絡先が登録済みの番号を選択した場合は、発信などの操作ができます。

3 登録する連絡先を選択→■→[OK]

■スピードダイヤルで発信する

1 待受画面でスピードダイヤルの番号(0～99)を入力

2 [発信]

■(発信)→[発信]と操作しても、電話をかけることができます。

memo

◎スピードダイヤルで＋メッセージ(SMS)やメールを送信する場合は、待受画面でスピードダイヤルの番号(0～99)を入力→■(発信)→[＋メッセージ作成]／[メール作成]と操作します。

au電話から海外へかける（au国際電話サービス）

本製品からは、特別な手続きなしで国際電話をかけることができます。

例：本製品からアメリカの「212-123-XXXX」にかける場合

1 国際アクセスコード「010」を入力

待受画面で[*]を1秒以上長押しすると、「＋」が入力されたダイヤル画面が表示され、発信時に「010」が自動で付加されます。

2 アメリカの国番号「1」を入力

3 市外局番「212」を入力

市外局番が「0」で始まる場合は、「0」を除いて入力してください（イタリアなど一部例外もあります）。

4 相手の方の電話番号「123XXXX」を入力→[通話]

memo

◎電話番号の入力中に[■]（発信）→［特番付加］→［国際電話］と操作しても国番号を入力できます。

◎au国際電話サービスは毎月のご利用限度額を設定させていただきます。auにて、ご利用限度額を超過したことが確認された時点から同月内の末日までの期間は、au国際電話サービスをご利用いただけません。

◎ご利用限度額超過によりご利用停止となっても、翌月1日からご利用を再開します。また、ご利用停止中も国内通話は通常通りご利用いただけます。

◎通話料は、auより毎月のご利用料金と一括してのご請求となります。

◎ご利用を希望されない場合は、お申し込みによりau国際電話サービスを取り扱わないようにすることもできます。

au国際電話サービスに関するお問い合わせ：
au電話から（局番なしの）157番（通話料無料）
一般電話から[F]0077-7-111（通話料無料）
受付時間 毎日9:00～20:00

電話を受ける

電話に出る

1 着信中に／(応答)

通話を開始します。

2 通話→

■電話がかかってきた場合の表示について

着信すると、次の内容が表示されます。

- 相手の方から電話番号の通知があると、電話番号が表示されます。電話帳に登録されている場合は、名前などの情報も表示されます。
- 相手の方から電話番号の通知がないと、理由が表示されます。

「非通知設定」「公衆電話」「通知不可能※」

※ 相手の方が通知できない電話からかけている場合です。

memo

◎LTE NET、LTE NET for DATAをご契約いただいていない場合、「データ使用量」の「モバイルデータ」をOFFにしてご利用ください。

かかってきた電話に出なかった場合は

◎ステータスバーに「」が表示されます。通知パネルを開くと、着信のあった時間や電話番号、または電話帳に登録されている名前が表示されます。

着信時に着信音、バイブレータを無効にするには

◎着信中に／マナー/シャッター を押すと、着信音、バイブレータを無効にすることができます。

他の機能をご利用中に着信した場合は

◎電話帳などの他の機能をご利用中に着信した場合は、着信が優先されます。

◎動画を録画していた場合は、録画が中断され、録画していたデータは保存されます。

◎音声レコーダーなどで録音していた場合は、録音が中断されます。

◎マナーモード(ドライブ)に設定している場合は、自動的に伝言メモが起動します。

着信を拒否する

1 着信中に◎(拒否)

着信音が止まって電話が切れます。相手の方には音声ガイダンスでお知らせします。

- 着信中に[ー]を押して着信拒否することもできます。

ステップアップ着信を設定する

不在着信通知を受けた後、同じ電話番号から10分以内に再度着信を受けると着信音をステップアップしてお知らせするように設定します。

1 待受画面で■→[電話 メール]→[通話設定]→[着信設定]

2 「ステップアップ着信」にチェックを入れる

- お買い上げ時にはONに設定されています。

不在通知のスヌーズを設定する

未確認の不在着信通知がある場合、スヌーズ通知するように設定します。

1 待受画面で■→[電話 メール]→[通話設定]

2 「不在通知のスヌーズ」にチェックを入れる

着信してから所定時間(5分／10分／20分／60分)が経過したときに再度お知らせします。

- 次の場合にスヌーズ動作が停止します。
  - 着信履歴を表示したとき
  - 着信してから60分経過したとき

伝言メモを利用する

伝言メモを設定する

1 待受画面で■→[電話 メール]→[伝言メモ]

2

伝言メモリスト	▶P.94「伝言メモを再生する」
伝言メモ応答設定	電話に出ることができないとき、応答メッセージを流して相手の方の伝言を録音するかどうかを設定します。 • 待受画面でクリアを1秒以上長押ししても設定できます。
応答時間	伝言メモで応答するまでの時間を設定します。
応答メッセージ	伝言メモの応答メッセージを設定します。オリジナルの応答メッセージを作成することもできます。
ドライブモード中有効	マナーモードを「ドライブモード」に設定しているときに、伝言メモで応答するかどうかを設定します。

伝言メモを再生する

1 待受画面で■→[電話 メール]→[伝言メモ]

2 [伝言メモリスト]

• 待受画面でクリアを押しても伝言メモリスト画面を表示できます。

3 再生する伝言メモを選択→■

伝言メモが再生されます。

• ■(ポーズ)で再生中の伝言メモを停止します。

電話帳

電話帳に登録する

連絡先の電話番号やメールアドレスなどの情報を電話帳に登録できます。連絡先ごとに着信音やバイブレータなどを設定することもできます。

1 待受画面で回を1秒以上長く押す

電話帳編集画面が表示されます。

2 必要な項目を設定

- 登録中に回(メニュー)→[項目追加]→追加する項目にチェックを入れる→◎(追加)と操作すると、項目を追加できます。

3 ◎(登録)→[OK]

memo

◎登録する電話番号が一般電話の場合は、市外局番から入力してください。
◎名前に半角英数字が含まれる場合、電話帳では名、姓の順に表示されることがあります。
◎相手の方から電話番号の通知がない場合は、「着信設定」で設定した着信音は鳴動しません。

◎電話帳に登録された電話番号や名前は、事故や故障によって消失してしまうことがあります。大切な電話番号などは控えておかれることをおすすめします。事故や故障が原因で登録内容が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
◎特定の連絡先を普段は表示させないようにしたい場合は、「シークレット設定」をONに設定してください。シークレット設定をした連絡先を表示するには、「表示設定」から設定してください。

電話帳の一覧を利用する

電話帳一覧画面を表示する

1 待受画面で[電話帳]

電話帳一覧画面(名前順)が表示されます。

- 電話帳一覧画面の表示方法が「グループ順」の場合は電話帳一覧画面(グループ順)が表示されます。グループを選択すると、選択したグループに登録されている電話帳一覧画面が表示されます。

電話帳一覧画面の見かた

《電話帳一覧画面(名前順)》

①電話帳を検索
電話帳一覧画面でダイヤルキーを押すと、検索文字を入力して連絡先を検索できます。[クリア]を押して検索文字を削除すると検索を解除します。

②連絡先
選択したタブに登録されている連絡先が表示されます。

③タブ

④画像
表示設定で「画像表示」を「表示する」に設定している場合、登録している画像があるときは、画像が表示されます。

memo

◎[◀▶]を押してタブを切り替えられます。

時短検索(電話帳検索)を利用する

待受画面でダイヤルキーを1秒以上長押しすると、該当するキーに対応する文字で始まる連絡先を検索結果に表示します。

例:「か」で始まる連絡先を検索する場合

1 待受画面で[2]を1秒以上長く押す

検索結果画面に「か」で始まる電話帳が表示されます。

電話帳の登録内容を利用する

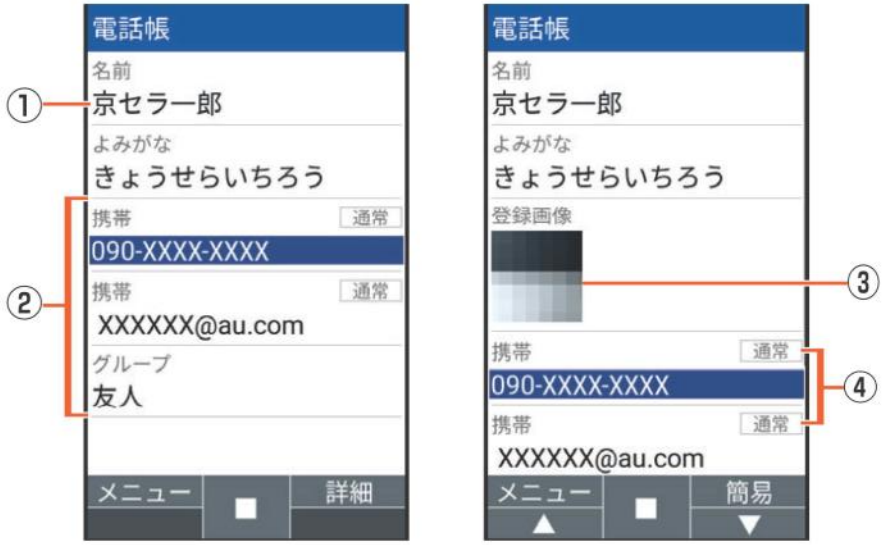
1 待受画面で▣→連絡先を選択→■

電話帳簡易画面が表示されます。

2 ◎(詳細)

電話帳詳細画面が表示されます。

■電話帳簡易画面／詳細画面の見かた



《電話帳簡易画面》　《電話帳詳細画面》

①名前
②登録内容
③画像
④通常使用の電話番号／通常使用のメールアドレス

memo

◎登録内容を選択して■を押すと電話の発信、メールの作成などができます。
◎電話番号／メールアドレスを選択して■→[通常使用]と操作すると、通常使用の電話番号／メールアドレスに設定できます。
◎▣(メニュー)→[編集]と操作すると、登録内容を編集できます。

よく通話する相手をペア機能に登録する

よく連絡する相手の方(最大3件)を電話帳から選択してペア相手に登録しておくと、簡単な操作で電話をかけたり、メールを送信したりできます。

1 待受画面で[ ]

ペア登録確認画面が表示されます。

2 [ ]で登録先を選択→■(登録)

電話帳の一覧画面が表示されます。

3 電話帳からペア相手を選択→■→[OK]

メールアドレスが登録された連絡先を選択した場合は、テストメールを送信するかどうかの確認画面が表示されます。[はい]／[いいえ]を選択したあと、画面に従って操作します。

memo

◎電話帳に複数の電話番号／メールアドレスが登録されている場合は、操作3で■を押した後、ペア機能で利用する電話番号／メールアドレスを選択する画面が表示されます。

◎シークレット設定をした連絡先は登録できません。また登録済みのペア相手を編集してシークレット設定すると、ペア登録が解除されます。

ペア機能を利用する

登録したペア相手に電話をかけたり、メールを送信したりできます。

1 待受画面で[ ]→[ ]でペア相手を選択

2

電話をかける	電話をかけます。
Eメールを送る	メールアドレスを宛先とした送信メール作成画面を表示します。
+メッセージを送る	電話番号を宛先とした+メッセージ(SMS)作成画面を表示します。

memo

◎ペア画面で▣(メニュー)→[ペアを変更]／[ペアを解除]と操作すると、ペア相手の変更や解除ができます。

メールについて

本製品では、次のメールが利用できます。

■Eメール
auメールのアドレスを利用してメールの送受信ができるauのサービスです(▶P.99)。

■+メッセージ(SMS)
au電話番号でメッセージのやりとりができるアプリです。au電話番号宛だけでなく、国内他事業者にもメッセージを送信できます(▶P.107)。

■PCメール
普段パソコンなどで利用しているメールアカウントを本製品に設定し、パソコンと同じようにメールを送受信できます(▶P.111)。

Eメール

初期設定をする

Eメール(@au.com/@ezweb.ne.jp)のご利用には、LTE NETのお申し込みが必要です。
ご購入時にお申し込みにならなかった方は、auショップ／au Styleもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。
初期設定を行うと自動的にEメールアドレスが決まります。初期設定時に決まったEメールアドレスは変更できます。

1 待受画面で✉

2 内容を確認→[接続する]

3 内容を確認→[閉じる]

memo

◎Wi-Fi®のみで通信している場合、Eメールの初期設定はできずエラーメッセージが表示されます。
以下の操作からWi-Fi®をOFFに設定できます。
待受画面で▣→[設定]→[よく利用する設定]→[Wi-Fi]→「Wi-Fi機能」のチェックを外す

Eメールを確認する

受信したEメールは、「受信ボックス」に保存されます。送信済みのEメールは「送信ボックス」に保存されます。受信したEメールや送信したEメールが振り分け条件に一致した場合は、設定したフォルダに保存されます。
送信せずに保存したEメール、送信に失敗したEメールは「未送信ボックス」に保存されます。

1 待受画面で✉

フォルダ一覧画面が表示されます。

2 [受信ボックス]／[送信ボックス]／[未送信ボックス]／フォルダを選択→■

Eメール一覧画面が表示されます。

- ◎(2行切替／3行切替):メール一覧の表示を切り替えます。

3 Eメールを選択→■

Eメール詳細表示画面が表示されます。

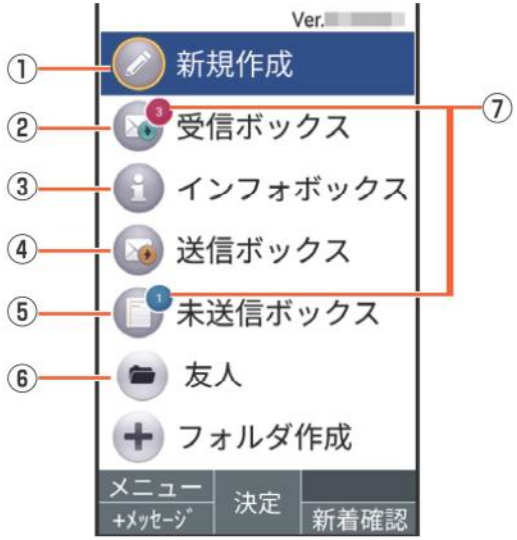
- ✉(前):前のEメールを表示
- 🌐(次):次のEメールを表示

memo

◎「受信ボックス」の容量を超えると、最も古い既読メールが自動的に削除されます。ただし、未読のEメール、保護されたEメール、本文を未受信のEメールは削除されません。
◎「受信ボックス」のすべてのメールが未読の状態で「受信ボックス」の容量を超えると、新着メールを受信できません。
◎「送信ボックス」／「未送信ボックス」の容量を超えると、最も古い送信済みメールが自動的に削除されます。削除できる送信済みメールがない場合は、送信失敗メール、未送信メールの順に削除されます。ただし、保護されたメールは削除されません。

■フォルダー覧画面の見かた

フォルダー一覧画面には、「受信ボックス」や「送信ボックス」、フォルダなどが表示されます。フォルダは、「フォルダ作成」を選択してフォルダを作成すると表示されます。



《フォルダー一覧画面》

①新規作成

②受信ボックス

③インフォボックス

インフォボックスメールを表示できます。

④送信ボックス

⑤未送信ボックス

⑥作成したフォルダ

⑦未読・未送信メール件数

■Eメール一覧画面の見かた

《受信メール一覧画面》

《送信メール一覧画面》

《未送信メール一覧画面》

《フォルダメール一覧画面》

①●：未読のEメール
○：本文を未受信のEメール

②件名

③宛先／差出人の名前またはメールアドレス
電話帳に登録があるメールアドレスの場合には、登録された画像／名前が表示されます。未登録のメールアドレスの場合にはEメールアドレスが表示されます。
受信したEメールに差出人名称が設定されている場合は、設定されている名前が表示されます。
- 電話帳にメールアドレスが登録されている場合は、電話帳に登録されている名前が優先して表示されます。

④アイコン
：返信したEメール
：転送したEメール
：返信／転送したEメール
：添付データあり
：保護されたEメール
：フラグ設定Eメール
：送信に失敗したEメール
：自動再送信Eメール

⑤受信／送信切替スライダー
フォルダ内の受信メール一覧と、送信メール一覧を切り替えて表示できます。

■Eメール詳細表示画面の見かた

《受信メール詳細表示画面》

《送信メール詳細表示画面》

①宛先／差出人の名前またはメールアドレス

②Sub：件名

③From：差出人の名前またはメールアドレス
To／CC／BCC：宛先の名前またはメールアドレス

④添付ファイル
：保存された添付データ
：保存に失敗した添付データ
：保存されたインライン添付データ
：未受信の添付データ
：受信に失敗した添付データ

⑤本文

⑥アイコン
- :返信したEメール
- :転送したEメール
- :返信／転送したEメール
- :複数の宛先あり
- :BCCの宛先で受信したEメール
- :自動再送信するEメール
- :送信に失敗したEメール
- :保護されたEメール
- :フラグ設定Eメール

⑦ ／ :詳細情報の表示／非表示

Eメールを送信する

1 待受画面で✉→[新規作成]

送信メール作成画面が表示されます。

2 アドレス入力欄を選択→●

3

アドレス帳引用	電話帳のメールアドレスを宛先に入力します。
アドレス帳グループ引用	電話帳のグループに登録されたすべてのメールアドレスを宛先に入力します。 グループに登録されているメールアドレスが宛先の上限を超えている場合は、上限まで宛先に入力します。
メール受信履歴引用	受信メール履歴／送信メール履歴の一覧から選択して、メールアドレスを宛先に入力します。
メール送信履歴引用	
プロフィール引用	本製品に登録されている自分のEメールアドレスを宛先に入力します。
アドレス直接入力	メールアドレスを直接入力します。
貼り付け	コピーしたメールアドレスを貼り付けます。

※ 表示される項目は、条件によって異なります。

4 件名入力欄を選択→■(編集)→件名を入力

5 本文入力欄を選択→■→本文を入力

6 (送信)→[送信]

memo

◎送信メール作成画面で(保存)を押すと、作成中のEメールを「未送信ボックス」に保存できます。
◎デコレーションアニメには対応しておりません。
◎1日に送信できるEメールの件数は、宛先数の合計で最大1,000通までです。
◎一度に送信できるEメールの宛先の件数は、最大30件(To／Cc／Bccを含む。1件につき半角64文字以内)までです。
◎絵文字を他社の携帯電話やパソコンなどに送信すると、他社の絵文字に変換されたり、受信側で正しく表示されないことがあります。また、au電話に送信した場合でも、受信側のau電話に搭載されている異なるデザインの絵文字に変換されることがあります。
◎送信時確認表示は非表示にすることができます。
◎あらかじめ「自動再送信」をONにすると、Eメールの送信に失敗した際に自動で再送信することができます。

◎本文には、最大20件(合計100KB以下)のデコレーション絵文字を挿入できます。
※ 一度挿入したデコレーション絵文字は、件数に関係なく繰り返し挿入できます。

宛先を追加・削除する

■宛先を追加する場合

1 送信メール作成画面→未入力のアドレス入力欄を選択→■

宛先の入力方法を選択するメニューが表示されます。「Eメールを送信する」(▶P.103)の操作3をご参照ください。

■宛先を削除する場合

1 送信メール作成画面→削除する宛先を選択→■→[削除]→[削除]

memo

◎「To」を選択→■と操作すると、宛先の種類(To／Cc／Bcc)を変更することができます。一番上の宛先の種類を変更することはできません。

Eメールを受信する

1 Eメールを受信

Eメールの受信が終了すると、次の方法で新着メールをお知らせします。

- ステータスバーに「✉」が表示され、Eメール受信音が鳴ります。
- ステータスバーにメールアドレス、名前、件名が表示されます。受信したEメールに差出人名称が設定されている場合は、設定されている名前が表示されます。メールアドレスが電話帳に登録されている場合は、電話帳に登録されている名前が優先して表示されます。
- 通知ランプが点滅します。
- 本体を閉じているときはサブディスプレイに「✉」が表示されます。
  また、メールアドレス(メールアドレスが電話帳に登録されている場合は、電話帳に登録されている名前)が表示されます。

2 待受画面で✉→[受信ボックス]

Eメール一覧画面が表示されます。

3 受信したEメールを選択→■

Eメール詳細画面が表示されます。

memo

◎Eメールやその他の機能を操作中でもバックグラウンドでEメールを受信します。ステータスバーに「✉」が表示され、Eメール受信音が鳴ります。ただし、「メール自動受信」をOFFに設定した場合は、バックグラウンド受信しません。

◎「メール自動受信」をOFFに設定している場合や、受信に失敗した場合は、Eメール受信音が鳴り「✉」が表示されます。「新着確認」を行い、Eメールを受信してください。

◎受信状態および受信データにより、正しく受信されなかった場合でもデータ通信料がかかることがあります。

◎受信できる本文の最大データ量は、1件につき約1MBまでです。それを超える場合は、本文の最後に、以降の内容を受信できなかった旨のメッセージが表示されます。

◎受信したEメールの内容によっては、正しく表示されない場合があります。

新着メールを問い合わせて受信する

「メール自動受信」をOFFに設定した場合や、Eメールの受信に失敗した場合は、新着メールを問い合わせて受信することができます。

1 待受画面で✉

フォルダー一覧画面が表示されます。

2 🌐(新着確認)

新着のEメールがあるかどうかを確認します。

Eメールアドレスを確認する

1 待受画面で✉→📖(メニュー)→[Eメール設定]

2 [Eメール情報]

Eメールアドレスが表示されます。

※ 待受画面で■→O と操作しても、Eメールアドレスを確認できます。

Eメールアドレスを変更する

1 待受画面で✉→📖(メニュー)→[Eメール設定]

2 [アドレス変更・その他の設定]

3 内容を確認→[接続する]→[メールアドレスの変更へ]

4 暗証番号を入力→[送信]

暗証番号はご契約時に設定された4桁の数字です。

5 内容を確認→[承諾する]

6 「ご希望のメールアドレスに変更する」にチェックを入れる→メールアドレスを入力→[送信]

7 [OK]

8 [閉じる]